

宿泊約款

適用範囲

第1条

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された習慣によるものとします。
- 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

第2条

- 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第3条

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約

第4条

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合および当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否

第5条

- 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - 満室により客室の余裕がないとき。
 - 宿泊しようとする者が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - 宿泊しようとする者が暴力団員若しくはその関係者、又は暴力団関係企業・団体若しくはその関係者、その他社会勢力（以下「暴力団等反社会勢力」という。）であるとき。
 - 宿泊しようとする者が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - 宿泊しようとする者が法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者であるとき。
 - 宿泊しようとする者が他のホテル利用者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊しようとする者が当ホテル又はその従業員に対し暴力的要求行為を行い、合理的範囲を超える負担を要求し、又は過去に同様の行為を行ったと認められるとき。

宿泊約款

- (9) 宿泊しようとする者が、特定感染症の患者であるとき。
- (10) 宿泊事業者は、宿泊しようとする者に対し、体温や健康状態の報告等、旅館業法第4条の2第1項目の規定による協力を求めることができる。
- (11) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (12) 宿泊しようとする者が、でい酔し又は言動が著しく異常で他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあるとき、あるいは身体又は衣服等が著しく不潔であるために、他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
(沖縄県旅館業法施行条例第5条の規定により)
- (13) 宿泊しようとする者が、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。

宿泊客の契約解除権

第6条

- 1. 宿泊者は、当ホテルに申し出て宿泊契約を解除することができます。
- 2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は、一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合であっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ、到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着されないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

第7条

- 1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が特定感染症の患者であるとき。
 - (3) 宿泊客が暴力団等反社会勢力であると認められたとき。
 - (4) 宿泊客が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であると認められたとき。
 - (5) 宿泊客が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があると認められたとき。
 - (6) 宿泊客が他のホテル利用者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (7) 宿泊客が当ホテル又はその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、合理的範囲を超える負担を要求し、又は過去に同様の行為を行ったと認められたとき。
 - (8) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - (10) 宿泊しようとする者がでい酔し、又は言動が著しく異常で他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあるとき、あるいは身体又は衣服等が著しく不潔であるために、他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。（沖縄県旅館業法施行条例第5条の規定により）
 - (11) 宿泊しようとする者が、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき
 - 2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。
-

宿泊約款

宿泊の登録

第8条

- 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - 宿泊客の氏名、連絡先、住所及び職業
 - 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - 出発日及び出発予定時刻
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が第12条の料金の支払いを旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます

客室の使用時間

第9条

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用出来る時間は、午後2時から翌日午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用できます。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - 超過3時間までは、室料の30%
 - 超過6時間までは、室料の50%
 - 超過6時間以上は、室料の全額

利用規定の遵守

第10条

- 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

営業時間

第11条

当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のホテル・ディレクター等御案内いたします。

- フロントキャッシャー等サービス時間：門限なし

フロントサービス：24時間

その他エクスチェンジサービス：24時間

- 飲食等サービス時間

ガーデンレストラン プランタン B1F

ご朝食：7:00～10:00（ラストオーダー9:30）

ご昼食：11:30～14:45（ラストオーダー14:30）

ご夕食：18:00～21:30（ラストオーダー21:00）

日本料理 和泉 B1F

ご昼食：11:30～14:45（ラストオーダー14:30）

ご夕食：17:30～22:30（ラストオーダー21:30）

定休日：火曜日

中国料理 桃翠 B1F

ご昼食：11:30～14:45（ラストオーダー14:30）

ご夕食：17:30～22:30（ラストオーダー21:30）

定休日：年中無休

ロビーラウンジ IF 10:00～17:30

バーラウンジ スターライト 10F

17:30～23:00（ラストオーダー22:30）

宿泊約款

上記の時間は、臨時に変更することがあります。

宿泊約款

料金の支払い

第12条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別紙第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けず。

当ホテルの責任

第13条

1. 当ホテルは、宿泊契約およびこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、消防設備の整備に努めているほか、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第14条

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。ただし、第7条第1項によって当ホテルが宿泊契約を解除した場合はこの限りではありません。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金および貴重品については、当ホテルがその種類および価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第16条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限り、当ホテルの決める方法で保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め14日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては、前条の規定に準じるものとします。

駐車場の責任

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊約款

宿泊客の責任

第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項、及び第 12 条第 1 項関係）

| | | |
|-----------------|------|--|
| 宿泊客が 支払うべき総額 | 宿泊料金 | ①基本宿泊料〔室料（又は室料 + 朝食料）〕 ②サービス料〔①×10%〕 |
| | 追加料金 | ③飲食料〔又は追加飲食料（朝食以外の飲食料）〕 及びその他の利用料金 ④サービス料〔③×10%〕 |
| | 税金 | 消費税 |

備考 税法が改正された場合には、その改正された規定によるものとします。

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

| 契約解除の通知を受けた日 契約申込人数 | 不泊 | 当日 | 前日 | 2日前 | 5日前 | 14日前 | 20日前 | 30日前 |
|------------------------|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------|
| | 1名～14名 | 100% | 80% | 50% | 30% | 10% | | |
| 15名～30名 | 100% | 100% | 80% | 30% | 20% | 10% | | |
| 31名～100名 | 100% | 100% | 80% | 30% | 20% | 20% | 10% | |
| 101名以上 | 100% | 100% | 80% | 50% | 30% | 20% | 15% | 10% |

備考 税法が改正された場合には、その改正された規定によるものとします。

- (注) 1. パーセント (%) は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（15 名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の 10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。